

## 第1回 考古学から見た二宮町

宮原 俊一（東海大学文学部）

### 1. 考古学という学問

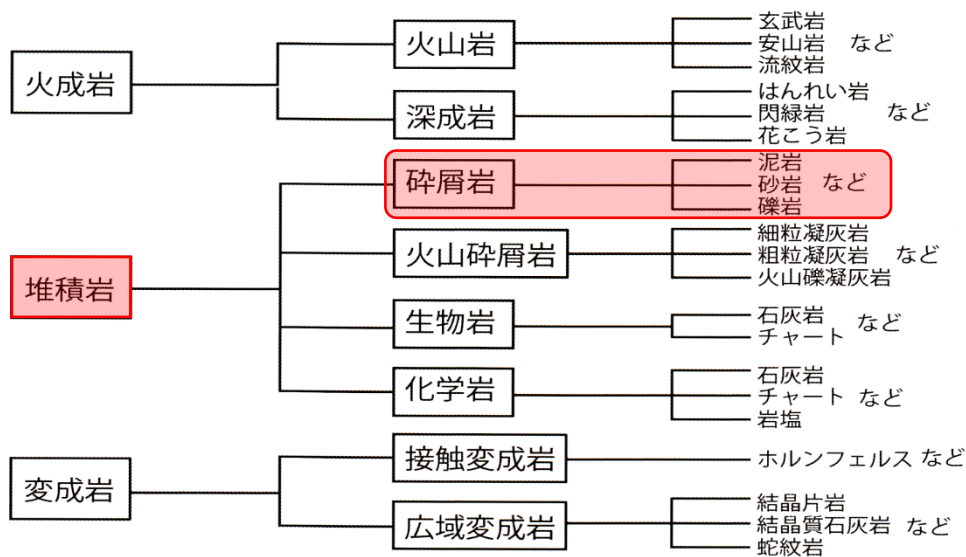
**遺跡**：人間の活動痕跡が残る場所または範囲。

**遺構**：遺跡を構成する一部の建造物の痕跡。

**遺物**：過去の人間活動の痕跡を示す可動的な物。

**考古学とは** 物的証拠に基づいて、過去の人間活動のありさまを復元し、そこから人類の歴史を再構成する学問である。

### 2. 二宮町の地形と地質



**火成岩**は、マグマが冷えて固まった石のことで、冷え固まる速度や、マグマの化学的な性質によって異なる種類に分類される。冷え固まる速度が速く、急激に固まったものは「**火山岩**」、ゆっくりと冷えて固まったものは「**深成岩**」に分類される。

**堆積岩**は、石や砂・泥をはじめとするさまざまな粒子が海中や川、陸上などに堆積して固まった石である。何が堆積してできたのか、またはその粒子の大きさの違いなどによって分類される。砂や石が堆積したものは「**砕屑岩**」、生物化石の堆積物は「**生物岩**」と呼ばれる。

**変成岩**は、火成岩や堆積岩が本来あった環境とは異なる温度や圧力などの条件におかれ、鉱物の組み合わせが不安定となり、異なる鉱物の組み合わせに変化した石のことである。

